

令和 2 年 10 月 30 日
健康推進課

令和元年度 練馬区がん検診無料チケット事業について

1 事業目的

子宮がん、乳がんの罹患者は近年増加傾向で、比較的若い年齢で罹患率のピークを迎える。このため、子宮がん検診は 20 歳、乳がん検診は 40 歳からの受診を習慣づけ、がんの早期発見・早期治療に繋げる。

2 事業内容

検診初年度となる子宮がん 20 歳、乳がん検診 40 歳の女性区民へ、自己負担金が無料となるチケットおよび啓発用リーフレットを個別送付。

○無料チケット

対象者の検診費用を無料とすることで受診のきっかけを作り、検診に対する誤解や不安を払拭する。

○啓発用リーフレット

がん検診の制度を周知することに加え、がんに対する正しい知識の普及、早期発見の重要性を伝える。また、適正な受診間隔で受診することの必要性について周知し、継続的な受診を促す。

3 目標

種別	目標受診率
子宮がん検診 (20 歳)	11.0%
乳がん検診 (40 歳)	26.0%

※ 目標受診率：国実施のクーポン事業における全国平均受診率。

4 実施状況

<対象者>

子宮がん検診 (20 歳)	平成 11 年 4 月 1 日～平成 12 年 3 月 31 日生まれ
乳がん検診 (40 歳)	昭和 54 年 4 月 1 日～昭和 55 年 3 月 31 日生まれ

<対象者数、受診件数および受診率>

◆子宮がん

種別	対象者数	受診件数	受診率
28 年度	3,684 人	159 件	4.3%
29 年度	3,445 人	174 件	5.1%
30 年度	3,584 人	206 件	5.7%
令和元年度	3,540 人	187 件	5.3%

◆乳がん

種別	対象者数	受診件数	受診率
28年度	5,556人	1,283件	23.1%
29年度	5,455人	1,290件	23.6%
30年度	5,285人	1,190件	22.5%
令和元年度	5,212人	1,125件	21.6%

< 発送日 >

平成 31 年 4 月 23 日 (火)

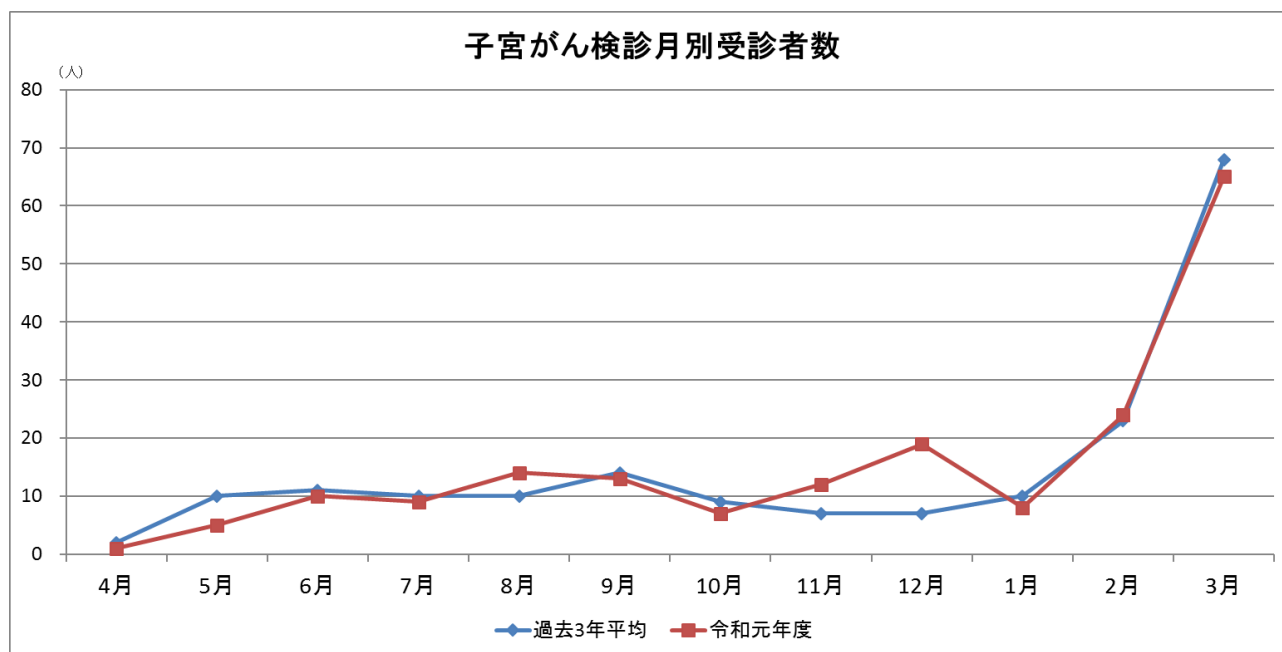
5 受診率向上効果について

受診率向上効果を検証するため、過去3年（平成28～30年度）の平均と比較した。

【子宮がん検診】

大きな差は見られなかったが、受診数、受診率共に過去3年平均を上回った。

※令和元年度 187人（5.3%）、過去3年平均 180人（5.0%）



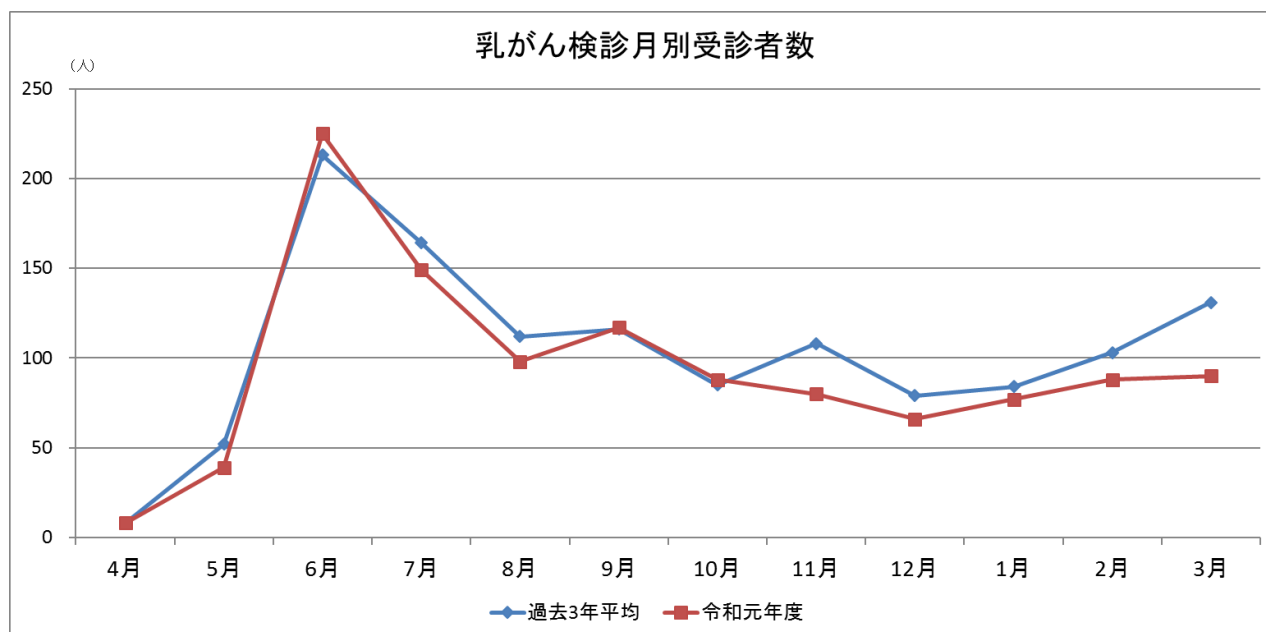
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
過去3年平均	2	10	11	10	10	14	9	7	7	10	23	68	180
令和元年度	1	5	10	9	14	13	7	12	19	8	24	65	187

【乳がん検診】

乳がん検診の受診月は、申込み月の2か月後となるため、6月以降の受診状況を比較する。

6月の受診者数は上回るものの、合計では受診数、受診率共に過去3年平均を下回る結果となった。

※令和元年度 1,125 人 (21.6%)、過去3年平均 1,254 人 (23.1%)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
過去3年平均	8	52	213	164	112	116	85	108	79	84	103	131	1,254
令和元年度	8	39	225	149	98	117	88	80	66	77	88	90	1,125

6 考察

子宮がん検診および乳がん検診ともに前年度比で減少となったが、両検診ともにご自身の偶数年齢で受診の方が奇数年齢で受診するよりも多い傾向が見受けられる。これは、受診対象初年度の無料チケットをきっかけとして、2年に1度の受診を習慣化している方が少なからずいることが想定される。

また、乳がん検診は40～44歳が35.9%とすべての年齢層で最も高い受診率となっており、これも無料チケットの効果であると想定できる。